

データからみる 目白大学生 Vol.3

目白大学では「育てて送り出す」を社会的使命として掲げています。Vol.3では、目白大学生の成長という流れと、過去のデータとの比較に焦点を当てています。データから目白大学生の現状に対する理解を深め、授業や学生生活のさらなる充実につなげていきませんか。

※新宿 = 新宿キャンパス 岩槻 = さいたま岩槻キャンパス

在学時



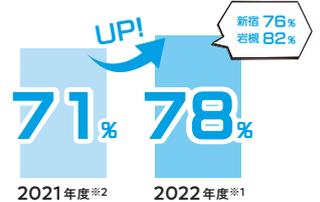
在学中に専門分野だけでなく幅広い知識を身につけ視野を広げる経験をした^{※1}



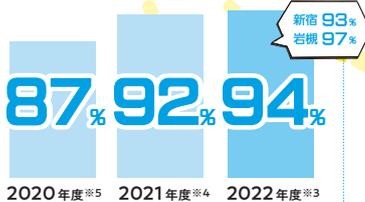
在学中に専門分野をしっかりと身につける経験をした^{※1}



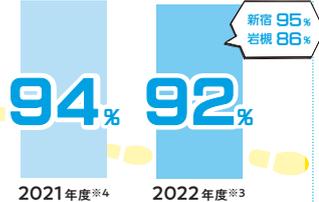
学生生活が充実している



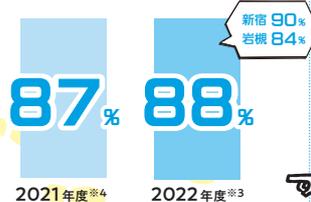
卒業時の進路満足度



先生の学生への面倒見は良かった



授業の内容がよく理解できた



卒業時

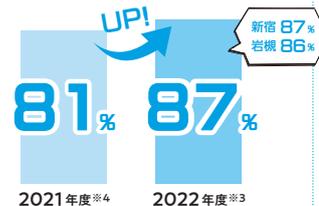


2022年度卒業生はCOVID-19の流行した2020年度と2021年度を大学生として過ごした

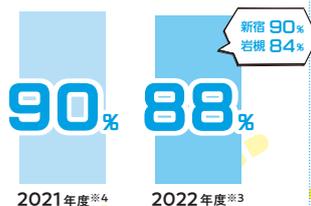
卒業後



在学中に一般的な教養が身についた^{※6}



専門分野や学科の知識が身についた



大学時代の

友人との交流

後輩にすすめたい



先生との交流



図書館の利用



主に1・2年次の基礎教養科目全般



専門科目の科目全般



役立っている



※数値は小数第1位を四捨五入して表示。無印=大学全体。 ※1 [2022年度 大学IRコンソーシアム調査] ※2 [2021年度 大学IRコンソーシアム調査] ※3 [2022年度卒業生 卒業生アンケート調査] ※4 [2021年度卒業生 卒業生アンケート調査] ※5 [2020年度卒業生 卒業生アンケート調査] ※6 2021年度は「幅広い教養」として調査 ※7 [2022年度 卒業した学生に対する学習成果調査アンケート] ※8 「該当なし」や「わからない」を省いて算出。